

# 学校だより 高遠の子

伊那市立  
高遠中学校  
2021.8.19  
No.10

(2学期始業式 校長講話より)

## 実践目標

(新型コロナウイルス感染症を考慮し、オンラインにて始業式を行いました。)

おはようございます。令和3年度の2学期の始まりにあたり、1学期の終業式で2つの実践目標について話をしましたので、その後半のお話をします。

実践目標にかかわって、本校の校歌の2番に、「うち鳴らす夜明けの鐘は こだまする長崎の空」という詩があります。続いて「新しき歌の調べの 声響く 都路の森」と続きます。この長崎とは、進徳館の実学の祖と呼ばれている阪本天山先生のことを指しています。校長室前にブロンズ像があります。そして、新しき歌の調べが、伊澤修二先生のことを指しています。そこではじめに天山先生のことを少し述べさせていただきます。

阪本天山先生は、江戸時代の後期、高遠藩に仕えた阪本家の長男として、小さい時から学問



や砲術を習い、22歳で家督を継ぎます。荻生徂徠の流れをくむ儒学を学び、やがて郡代となります。天竜川の洪水対策や西駒調査も行

いました。天明の飢饉の際には、財政が悪くなることを防ぐために倹約をすすめたため、やっかみを受けたのでしょうか、冤罪をかぶせられて、やめることになってしまいます。

もともと、学問好きであった天山先生は、自ら学ぶとともに、若者にも指導を続け、周発台という砲術の新しい技術も発明します。冤罪が晴れて高遠藩から戻るように言われても、天山先生は、さらに学ぶことがあるということで、高遠藩には戻らず、長崎へと向かいます。幕末維新で有名な長州藩でも教えています。そして、長崎の平戸藩に着きます。平戸藩でも天山先生を藩に迎えようとしたのですが、自分の主は内藤のお殿様、高遠藩のみであるという理由で出仕せず、長崎で亡くなります。天山先生の砲術の技術は当時、世界的に見ても最先端をいっていたそうです。ちなみに、県歌「信濃の国」に出てくる佐久間象山先生は、松代藩の出身で幕末・維新に大きく影響を与えた先生ですが、1811 生まれですので、天山先生の次の時代の人となります。全部は調べ切れていませんが、上伊那の中学校・高校で天山先生のことを校歌にうたっているのは、今のところ、高遠中学校と伊那北高校の2校です。

校歌の作者は、「宮下忠道校長先生」です。統合中学校初代の校長先生です。作曲は、広瀬千春さん、当時の公民館長さん。昭和39年度の

高遠中学校校歌

作詞：宮下忠道先生（初代校長）

(有志職員の協力、全職員の意見)

作曲：広瀬千春さん（当時の公民館長）

卒業式に初めて校歌として歌われました。昭和36年の開校にあたって、宮下校長先生は、学問の尊重、規則を守る、親和協力とお話しています。この言葉は今の高遠中学校にも受け継がれています。

昭和36年「開校式」(宮下校長)

「学問尊重」

「規則を守る」

「親和協力」・機会均等の精神

- ・人に迷惑をかける
- ・自他ともに敬愛
- ・自然に親しみ生物に愛情を

今、宮下校長先生の話の中の「親和協力」の一つとして、「自然に親しみ生物に愛情を」というものがありました。おそらく、それが、実践目標「花作相見」につながっているのではと思います。昭和56年、学校教育目標「学則得」とともに、「日常活動で重視しているもの」として、「清掃不言、挨拶愛語、花づくり相見」が位置づきます。今から40年ほどまえの話です。

昭和56年…“花づくり相見”

「人と自然との関係」

- ・美の世界の問題
- ・体験を通して自然の摂理を学ぶ

「人と自然との関係。美の世界、体験を通して自然の摂理を学ぶ」ことを願っています。

今、「花作相見」は、「人と自然との関係を構築し、心の美しさを求める」ものとして、皆さんの日常の活動に位置づいています。

4つ目「歌声響合」についてです。昭和56年当時にはありません。平成4年、今から30年ほど前になります。“歌声の響き合い”として、初めて、日常活動の実践目標として位置づけられました。校長先生は第10代、城取茂美校長先生です。当時の記録には、「歌声の響き合う学級、学校は、心の響き合う学級、学校でもある。各個の声を存分に出し、その良さを認め合い、



平成4年...“歌声の響き合い”

歌声の響き合う学級、学校は、心の響き合う学級、学校でもある。各々の声を存分に出し、その良さを認め合い、それらを合わせた感動を共に分かち合いたい。

それらを合わせた感動を共に分かち合いたい」とあります。

その年の生徒会の具体目標の中にも5番目に位置づいています。当時の生徒会の目標を見てみると、今でも大切にされている普遍的な内容であることが分かります。目標を目指して日々努めていくことに価値があり、その積み重ねが高



城取茂美 校長先生  
(第10代)

平成4年...生徒会活動の具体目標

- 1 明るい笑顔で誰にでも挨拶する
- 2 小さな意見でも出し合い話し合い生かしていく
- 3 自分の役割を理解し、責任をもってやりぬく
- 4 自分の体を使って働く
- 5 **歌声を響かせ、心を一つにする**

遠中学校の伝統となっていくのではと、今回、皆さんにお話するために調べていく中で、改めて教えられた思いがしています。

ちなみに、伊澤修二記念音楽祭は記念祭として、昭和62年11月から始まっており、中学生が合唱で参加するようになったのは平成19年からです。それまでは鑑賞という形で参加していました。

さて、今年オリンピックの年ですので、少しオリンピックの話

もしましょう。世界から集まったアスリートのすばらしさを、テレビを通して感じた人も多かったことと思います。選手の皆さんが共通して語っていたのは「開催できたことへの感謝」の言葉でした。東京オリンピックについて言うと、東京オリンピックと呼ばれるものは、3つあります。1940年は、戦争であったり、財政的な理由から返上しています。第二次世界大戦、太平洋戦争において、日本は広島と長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われました。同時に戦争によってアジアをはじめとして多くの命を奪ってしまいました。このことがその後のオリンピックに影響を与えています。1948年のロンドン大会には出場が認められませんでした。それから16年後、アジアで初めてのオリンピック、東京オリンピックとなります。日本の戦後の復興、平和の祭典という意味をもつ

ての開催です。そして、2020年。東北大震災の復興という願いを込めての開催予定でしたが、知ってのとおり新型コロナ禍により1年延期となりました。

オリンピックも含めて、日本や世界の過去や現在を学ぶことは、私たちがこれからどう生きていくかを考えることにつながり

ます。今回はパラリンピック開催です。メディアを通して情報を得ていくことになりませんが、今お話した視点でも考えてほしいと思います。

### 『東京オリンピック』

～選手の“感謝の言葉”の奥にあるもの～

「東京オリンピック」

1940年...1938年返上(中止)

“幻のオリンピック”

1964年“戦後日本の復興”

“平和の祭典”

2020年...“東北の復興”

→“新型コロナ禍”2021年開催

・1937年～日中戦争

・1941年～太平洋戦争

・1945年8月6日 広島に原爆投下

・ 8月9日 長崎に原爆投下

・ 8月15日 終戦(敗戦)

→1948年のロンドン大会には出られず

・2011年3月11日 東北大震災

この2学期、皆さんは何を目標に、どのようなアプローチで目指していきますか。生徒会最大行事である聖桜祭、学年の行事、そして日々の学習や仲間とのかかわりの中で、多くを学んでほしいと思います。新型コロナには、まだまだ十分気を付けていかねばなりません。コロナに負けない生活をしていきましょう。

PTA新聞が表彰されました。  
県PTA 連合会「優良賞」  
おめでとうございます。

新型コロナにより学年行事の変更をお知らせします。

○2学年行事「登山」

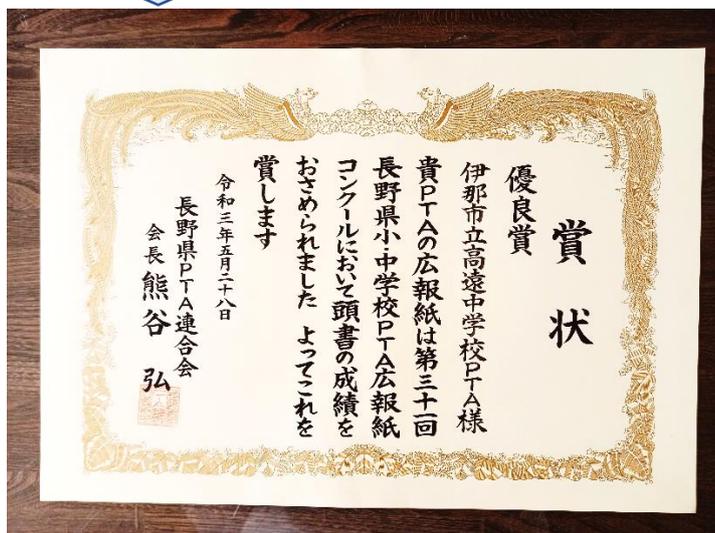
→8月25日(水) 西駒ヶ岳「乗越浄土」へ(日帰り)

○3学年行事「修学旅行」

→10月9～11日 奈良・京都 (\*延期)

保護者の皆様には、ご心配をおかけしております。学年行事につきまして、上記のとおり、期日、方面等を変更させていただきました。現時点で「聖桜祭」は日程等の変更はありませんが、昨年度同様に新型コロナ対策を施しての開催を想定せねばならない状況です。

行事の直前まで予断を許さない状況が続いてしまいますが、ご理解ご協力をお願いします。



新型コロナウイルス感染症についてのお願いです。在校中に発熱等の症状が見られた場合には、感染の可能性を考慮し、他の生徒との接触がないように会議室にて待機し、早期にお迎えをお願いすることになります。緊急連絡先にお電話をします。その際には、ご理解とご協力をお願いします。

「教職員の働き方改革」～保護者の皆さまにご理解とご協力をお願いします。～

保護者の皆さまには、これまでもPTA会等でお伝えしてまいりました教職員の時間外勤務状況についてご理解とご協力をいただきありがとうございます。改めてのお願いです。本年、4月から7月の本校職員の状況は、一部職員に健康を害するとされる基準を大きく上回る結果が出てしまいました。職員の健康を守る上で許されるものではなく、これまで以上の業務改善に努めねばならない状況です。特に夕刻から夜にかけての時間外勤務が要因となっております。以下についてご理解ご協力をお願いします。

- 部活動では、複数職員による指導機会を減らし、学習準備等に従事する時間を確保します。
- ご家庭への電話連絡の時刻を夕刻よりも早めにおかけすることがあります。お仕事中にかけることもあります。諸会合も始めの時間を繰り上げることがあります。ご理解とご協力をお願いします。
- 学年だより、学級だよりなど簡潔化、回数減にご理解ください。
- 学校が休みの日は、これまで同様、市役所・学校緊急携帯をご利用ください。(緊急時は対応します。)